石川県七尾美術館だより

平成26年７月１日発行
編集・発行（公財）七尾美術財団

第78号（夏号）

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

等伯に続く長谷川派の絵師たち

右：「海棠に雀図」長谷川信春（等伯）筆　室町時代　個人蔵

左：「花鳥図屏風」（部分）長谷川主殿筆　桃山～江戸時代　個人蔵

展覧会紹介

平成26年7月3日（木）～
10月26日（日）
休館日については裏表紙をご覧ください

「等伯に続く長谷川派の絵師たち」

9月13日（土）～10月26日（日）

◇第2展示室

当館は来年開館20周年を迎えます。今春にプレ特別展「長谷川等伯展～その多才な画業～」を開催しましたが、今回はそれに続くミニ特集展示です。

長谷川等伯（1539～1610）は、すでに20歳代には信春の名で絵仏師として活躍。その頃には能登と都を往来し、30歳代中頃に正式に都へ移住したと考えられます。一時期狩野派に学んだとされますが、当時一級の文化人たちと交流し、長谷川派を成して豊臣秀吉などの御用も務めました。

では、等伯が移住した後、能登での長谷川派はどうなったのでしょう。また、京都で等伯から学んだ長谷川派の絵師たちは、どんな作品を描いたのでしょうか。

本展では、それら長谷川派の作品に、等伯の信春時代作品「海棠に雀図」（個人蔵）、「愛宕権現図」（当館蔵）、今年2月の調査で新たに確認された、養父・宗清の新出作品1点を加えた10点を紹介します（「複製松林図屏風」含む）。

■長谷川宗清■

長谷川宗清（1507～71）は等伯の養父で、雅号は道浄。プロの絵師ですが、史料には染色業を営んでいたと記述されています。等伯が信春の名で活動していた能登時代に画技を指導し、大きな影響を与えたといわれます。等伯との合作らしき作品も確認されています。

養父・宗清の新発見作品、初公開！

「日蓮聖人像」 長谷川宗清（道浄）筆 高岡市・妙傳寺蔵

本図は今年2月の調査によって、等伯の養父・宗清の真筆と確認されました。『法華経』巻を左手に持して説法する日蓮聖人の姿で、左下部に「道浄筆六十一歳」の墨書と「宗清」印があります。この時、等伯は29歳です。その翌年、信春時代の代表作「涅槃図」（羽咋市・妙成寺蔵）や「法華経本尊曼荼羅図」（京都市・妙傳寺蔵）を描き、独り立ちして見事な絵師になっていました。宗清は、本図制作の4年後に亡くなりました。

■長谷川等誉■

長谷川等誉（?～1636）は、桃山～江戸初期に能登を中心に活躍した絵師です。長谷川家菩提寺・長壽寺（七尾市）の過去帳に名前があり、作品には等伯の後を追随する姿勢が見られ、等伯移住後に能登での長谷川派を継承した人物と考えられています。

七尾市指定有形文化財

「涅槃図」 長谷川等誉筆 七尾市・東嶺寺蔵

「涅槃図」は釈尊が涅槃に入る場面を描いたもので、横たわる釈尊の周りには、諸尊や仏弟子、鳥獣など、会衆たちも悲しんで集まってきています。等誉の「涅槃図」は5点知られていますが、本図はしっかりと着色された作品で、会衆たちはとても細かく描写されています。

■長谷川左近■

長谷川左近（1593～?）は雅号を等重といい、久蔵、宗宅、宗也と続いて等伯の4男と見られています。等伯が「自雪舟五代」と称した後を継ぐように、「自雪舟六代」を名乗りました。京都大徳寺の住職・沢庵和尚が着賛した屏風や、歌仙図などの優品が数点現存しています。

「波龍図屏風」 長谷川左近（等重）筆 和歌山県・金剛三昧院蔵

本図は一部に金泥が刷かれた水墨画で、両隻に「長谷川」朱文二重円形印と「等重」朱文二重方形印が捺され、長谷川左近の筆と分かります。右隻と左隻の龍は、波浪の中で向かい合うように悠々と描かれています。緊張感のある等伯筆の「波龍図屏風」（京都市・本法寺蔵）とは異なり、本

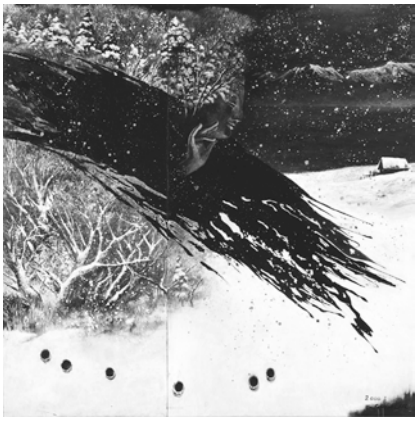
図の龍はどこか愛嬌のある表情が特徴的です。

本図は朱衣を着した立姿の達磨を画面いっぱいに描いたもので、左隅下方に「長谷川」朱文二重長方形印と「等権」朱文方形印が捺され、長谷川等言の作と分かります。太く長く垂れ下がる眉毛、ギョロリと見開く目、固く結ばれた口、それに口や顎・頬のヒゲ、耳輪など、達磨図特有の図様です。体躯の造形はドッシリとして風格があります。

同時開催
「絵のちから」
～近世から現代作家まで～

◇第1展示室

美術作品には様々な〝ちから〟があります。私たちを元気づけたり、感動させたり、心和ませてくれたり、時には考えさせられたり…。本展では当館収蔵作品の内、近世・現代作家の絵画から、絵の持つちからと魅力を紹介します。

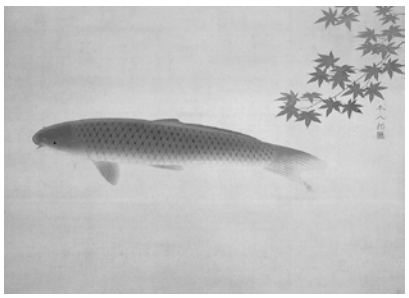


洋画「見透せぬ窓」前田さなみ

作者は「見透せぬ窓」シリーズで、戦争や犯罪が絶えない世界にメッセージを送り続けています。降り積もる白い雪に残る弾痕、多くの犠牲を想起する赤黒い絵の具…しかし、その中には人々の祈り、希望を込めた仏の姿が描かれています。

日本画「鯉」福田平八郎（池田コレクション）

鯉は作者が好んだ画題の一つです。ゆったりととどまる鯉、よく見ると水は一切描かれていません。にもかかわらず、私たちはこの絵から水を感じます。また、右上に描かれた新緑の紅葉は、画面に初夏の清涼感を与えています。



洋画「老匠」八野田　博

作者は人物画を多く描きましたが、本図はその中でも数少ない男性像です。モデルは刃物などを研ぐ「目立（めだて）」の老人です。眼鏡から覗く鋭い目、伸びた白い髭、力強くヤスリを握る手からは、職人としての年輪と自信が伝わってきます。

◇共通観覧料

	個人	団体
一般	500円	400円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

■長谷川等言■

長谷川等言は生没年が不詳ながら、史料によると等権と号し、水墨の人物を得意とし、元和年間（1615～24）頃に活動した絵師とされます。また、江戸下谷養玉院には、天海僧正の賛がある「涅槃像」があるとの記述もあり、同図は今も同寺に現存しています。

「達磨図」長谷川等言（等権）筆
金沢市・妙慶寺蔵

「池田コレクション展
～池田文夫氏のこころ、ここに集う～」

7月18日（金）～9月7日（日）

◇第1・第2展示室

「納涼美人図」
宮川長春

「美術品を蒐集する」活動は、洋の東西を問わず古代より政治家などの権力者や学者などの知識人たちによる先例がみられ、日本においても正倉院御物や東山御物に代表されるように、人びとのいとなみの中で盛んに行われてきました。

やがて市民文化が発達すると、一般庶民も自らの好みに応じた様々な文物をコレクションするようになります。近代以降、特に美術品においては数寄者と呼ばれる実業家たちがその担い手となって、数多くの作品を蒐集していきました。そのため現在、各地に所在する美術館の中には、これら実業家たちのコレクションが母体となっているものも多くみられます。

当館が開館するきっかけとなったのも、実業家が蒐集したコレクションの寄附でした。その人物こそ、今回の展覧会名にもなっている池田文夫氏（1907～87）なのです。

池田氏は明治40年七尾市生まれ。紡績を志して岐阜県大垣市で和光紡績株式会社を設立、中部地方きっての経済人として活躍します。大垣市の産業発展に大いに帰依する一方で、故郷である七尾市にも数々の貢献を行い、七尾市名誉市民にも推挙されました。

その氏が生涯を掛けて取り組んだのが、美術品の蒐集でした。各作品をこよなく愛した氏は若い頃より蒐集活動を始め、日本・東洋・西洋など幅広い範囲で、数多くの品々を求めていきます。

氏の没後の昭和63年（1988）、蒐集された美術品の内、125点が七尾市に寄附されました。氏の名を採って「池田コレクション」と命名され、平成7年に開館した当館の中核所蔵品に位置付けられます。そして、池田家の皆さまの引き続いてのご厚意により、当館の節目ごとに追加寄附が行われて内容が拡充、コレクションは現在、204点となっています。

池田氏が活躍した岐阜県美濃地方ゆかりの陶磁器や近現代絵画、肉筆浮世絵、そして漆器「根来」など、多彩な内容で構成される「池田コレクション」。その一品ごとに、きちんと整えられた収納箱や梱包道具、一字一字愛情込めて書かれた箱書や添書などをみるにつけ、美術品を心より愛し、終始優しい眼差しで見続けてきた氏の姿を思い描くことができます。

本展では「池田コレクション」より、工芸や絵画・彫刻など幅広いジャンルで優品の数々を紹介します。作品に込められた、池田氏の「こころ」。ぜひとも感じ取っていただきたく思います。

「色絵龍桐文木瓜形平卓」
粟生屋源右衛門

「カブラ絵合鹿椀」

◇共通観覧料

	個人	団体
一般	350円	280円
大高生	280円	220円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「主張する美術～所蔵現代作品より～」

7月23日（水）～9月7日（日）

◇第3展示室

絵画・彫刻・工芸・書・写真など、様々なジャンルに分類される美術工芸品。多彩な材料や技法を下地に、様々な作家たちの手が加わることによって生み出される作品群は、まさにバラエティ豊かのひとことです。

作品は作家たちの声の代弁であり、形ある限り時代を超えて彼らの想いを主張し続けます。その主張は、ある作品は優しく、ある作品は激しくと実に様々ですが、「観る者に何かを訴え、そして感銘を与えてきた」点においては、共通しているといってよいでしょう。

これまで「能登にゆかりのある作品の紹介」を主要テーマに、関連する様々な作品や資料を収集・展示してきた当館。おかげ様をもちまして、今年で開館19年となります。その間、多くの方々のご厚意により、能登地区の総合美術館として幅広いジャンルの作品を所蔵することができました。その点数は現在、「池田コレクション」を含めて約680点を数えます。

本展では、それら所蔵品より絵画や彫刻、工芸などの現代作品を展示。それぞれの作品より発せられる、作家たちの〝声〟を聞いてください。

「Melancholy(Ⅱ)」中村静勇

「たーた（少女）」岩山豊郁

※観覧料は「池田コレクション展」と共通料金です。

貸館催し物案内

第2展示室・市民ギャラリー

第25回記念　石川県水墨画協会　公募展
入場無料

7月3日（木）～6日（日）

年齢・性別を問わず、石川県内に在住する一般県民を対象とした水墨画の公募展で、受賞作・能登地区出品者作品を中心に、約100点を展示します。今年は第25回の記念展となり、石川県立美術館、七尾美術館、加賀市美術館の3会場の巡回となります（石川県立美術館は既に終了）。

会派を越えての展覧となりますので、是非この機会に水墨画の世界をお楽しみください。

主　催　石川県水墨画協会
連絡先　石川県水墨画協会　事務局　佐藤剛志
☎０７６１（55）５２９９

第20回記念 七尾美術作家協会展 ～先人の代表作・特別展示～
入場無料

7月9日（水）～13日（日）

協会結成20年の節目にあたり、今日の七尾市美術文化の礎を築いてこられた代表作家の作品（七尾美術館所蔵作品＝日本画2点、洋画3点、彫刻3点、書2点の10点を含む）、14名の名品を一堂に展示します。会員83名の近作（日本画11点、洋画19点、彫刻7点、工芸6点、書31点、写真9点）を展示開催します。能登最大の美術展覧会を市民のみならず、県内外の多くの皆様にご鑑賞いただきますよう念じています。お誘い合わせの上、ご来館くださるようお待ち申し上げます。

主　催　七尾美術作家協会　（会長　吉田 隆）
連絡先　七尾美術作家協会　事務局　内藤雄鵬
☎０７６７（52）４７５５

市民ギャラリー

第19回　七尾日創展
入場無料

7月18日（金）～21日（月・祝）
初日は午後1時から、最終日は午後4時まで

公募により県内外から出品された日本画を中心とする絵画約60点を展示します。若さあふれる作品からベテランの充実した作品まで、個性あふれる作品をお楽しみください。

主　催　日創会
連絡先　三宅厚史　☎０７６７（77）１３６８

アートホール

Little Pianist Concert Vol.14
入場無料

7月6日（日）　開演　午後1時30分

緊張するけど、楽しんで演奏できるといいな♪。日頃の練習の成果を発表したいと思います。さまざまなジャンルの演奏をどうぞお聴きください。

主　催　川部真紀
連絡先　川部真紀　☎０７６７（57）１６４１

ピティナ・ピアノステップ
入場無料

7月27日（日）　開演　午前10時

ピティナ・ピアノステップも今回で4回目を迎える事となりました。新たな企画で今回は、フルート・ヴァイオリンとのアンサンブルを行います。プログラムはピティナHPに掲載されます。

主　催　全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）
連絡先　平島紀子　☎０９０-１１１０-８７２４

第3回　大森結城クラシックバレエ発表会
入場無料

8月2日（土）　開演　午後2時

子供たちの練習成果を発表したいと思います。少し難しい振付にも挑戦しました。楽しみながら一生懸命踊ります。皆様方にも最後までご一緒に楽しんでいただきたいです。

主　催　大森結城クラシックバレエスタジオ
連絡先　大森知音　☎０７６７（53）０４６９

佐藤有希子門下生ピアノ発表会
入場無料

8月3日（日）　開演　午後1時30分

日頃の練習の成果を、ピアノソロ・ピアノ連弾で披露する発表会です。小さなピアニストたちが奏でる音を、どうぞお聴きください。

主　催　佐藤有希子門下生
連絡先　佐藤有希子　☎０７６７（54）０９５５

「おこぜの会」10周年のつどい～オペラをお祝いに～
入場無料

8月17日（日）　記念式典　午後2時
ミニコンサート　午後3時

食文化伝承のボランティアグループ『おこぜの会』も発足して10年になりました。『10周年のつどい』には二期会会員オペラ歌手、北川辰彦・澤村翔子ご夫妻をお迎えしてミニコンサートも開催します。

主　催　おこぜの会（七尾市文化協会）
連絡先　大森カズ　☎０７６７（52）４２１４

第18回　青山バレエスタジオ発表会
入場無料

9月7日（日）　開演　午後1時30分

踊るのが大好きな子供たちのバレエの発表会です。クラシックバレエからジャズダンスまで一生懸命練習してきました。かわいい子供たちの練習の成果を是非見に来てください。

主　催　青山バレエ
連絡先　津田康子　☎０９０-８２６１-６７９２

等伯レジェンドコンサート
9月13日（土）　開演　午後1時30分　無入場料

安土桃山時代に活躍した絵師長谷川等伯、郷土七尾で等伯を彷彿とさせる楽曲の演奏が繰り広げられます。どなたでもご参加できますので、是非お誘い合わせの上、お越しください。

問・連絡先　等伯生誕の地ＰＲ事業支援委員会　事務局
築城（ついき）☎０７６７（53）８４３７

１８５回例会　オペラと道化師のユニット　青い卵
「いつもお２人さま」
9月20日（土）　開演　午後7時　会員限定

茶目っ気たっぷりのオペラとおとぼけの道化師のやりとりを中心に繰り広げられる、セリフのないショー。どこか懐かしい、歌とパフォーマンスが紡ぎだす温かい空間。聴いて、観て、感じるエンターテイメントです♪

（当日入会の方も入場できます。）

主　催　七尾子ども劇場
連絡先　打越　☎０９０-２８３１-９２５９
大窪　tomoe@notonet.com

彩・色・いろんな紙芝居フェスタ
9月23日（火・祝）　開演　午前11時・午後2時　無入場

日本にしかない語りの文化「紙芝居」を、「のま　ひょうしぎの会」で演じます。小さなお子様から大人まで全員が楽しむことができます。「のまりん」と一緒に楽しいひと時をどうぞ。

主　催　のま　ひょうしぎの会
連絡先　福田美江子　☎０７６７（57）２５８０

「長谷川等伯展」＆催し終了報告

去る4月26日から6月1日まで、毎年恒例の長谷川等伯展を「その多彩な画業」をサブタイトルとして開催、《天才絵仏師・信春》《巧みなる肖像画》《華麗なる金碧画》《様々な墨の表情》の４つのテーマで21点を紹介しました。

開会式には七尾市立田鶴浜小学校5年生の皆さんを特別招待。児童代表の言葉として白田萌果さんから挨拶、テープカットには代表の石垣翔大さん、前田望衣さんが参加、ゆるキャラ「とうはくん」も加わり、楽しい式となりました♪

また、会期中の関連催しにも、多くの方が参加されました。

★4月29日に開催した「特別講演会」では、等伯研究者としても知られる出光美術館の黒田泰三学芸部長が、等伯の様々な画業を、狩野派との関係を交えながらご講演いただき、皆さん興味深く聴き入って、熱心にメモをとられる姿も見られました。

★5月18日に開催した「スペシャル講座」には、県内外から14名が参加されました。最新情報を交えた講座で、展覧会を更に楽しくご覧いただけたのではないでしょうか。

開会式の様子

展示室の様子

等伯カレンダープレゼントクイズ 正解発表!!

前号の美術館だよりで実施しましたクイズですが、なんと応募者ゼロ…。皆様、難しかったでしょうか…。しかし、応募はなくともチャレンジしてくださった方のために、正解を発表します。

① 等伯画**せ**つ（説）
② 無ぶ**ん**（分）
③ 矩け**い**（形）印
④ 前田利**な**が（長）
⑤ **り**ゅう（柳）橋水車図屏風

答え：**林和靖**（りんなせい）

林和靖（967-1028）とは？

和靖は号で、名は逋。中国・北宋代の詩人です。名勝の地である西湖の近く、街から離れた弧山に居を構え、客が来ると２羽の鶴を放したといわれています。「梅が妻、鶴が子」と語り、絵画では梅や鶴と共に描かれます。

「四愛図」は林和靖の愛梅の他、陶淵明の愛菊、周茂叔の愛蓮、黄山谷の愛蘭を画題とし、等伯も数点制作しており、『等伯画説』にも同画題についての記述がみられます。

昨年の等伯展では京都・聚光院蔵の「四愛図座屏」を展示させていただきました。

プレゼント用のカレンダーは、等伯子どもクイズの賞品とさせていただきます。

第15回石川県七尾美術館友の会「鑑賞の旅」のご案内

等伯ゆかりの圓徳院と京都国立博物館の旅

参加者大募集!　ご利用しやすい日帰り

京都 高台寺塔頭の圓徳院は、豊臣秀吉の正室・ねね(高台院)が晩年を過ごした隠居寺で、等伯が和尚の留守中に勝手に描いた「山水図襖」を所蔵することでも有名です。素敵なお庭を見ながら、京都観光おもてなし大使で、国のVISIT JAPAN大使も務められる後藤典生閑栖御住職のお話を聞き、圓徳院の魅力を体感しましょう(室内の「山水図襖」は複製です)。

京都国立博物館では、５年前に休館した平常展示館が平成知新館として今年９月にオープンし、特別記念展「京（みやこ）へのいざない」展が開催されます。「ズラリ国宝、ずらり重文。」のキャッチコピーが示すとおり、国宝が50点余り、重文が110点余り公開される予定で、まさに名品・名作の総出演です。さらに同博物館の明治古都館（本館）では、修理完成記念として国宝「鳥獣戯画」も全巻一挙公開されます（展示場面の変更あり）。平安遷都以降千年以上にわたる「日本の美」を新しく美しい博物館で思う存分堪能できます。

東山界隈を散策し、賑やかしい秋の京都をご一緒しませんか？　皆様からのお申込みをお待ちしております。

◆ 日　程　10月19日（日）【貸切バス利用】　5：30 出発　22：00 頃帰着予定
◆ 見学地　圓徳院(京都市)・京都国立博物館
◆ 参加費　１２,０００円（税込み）
◆ 定　員　先着20名（対象は原則として成人）
◆ 募　集　7月5日(土)～9月19日(金)

※バス代・拝観入館料・昼食代・旅行傷害保険料込。
※友の会会員以外の方は左記参加費に1,000円加算となります。

※参加費をご持参のうえ、当館受付までお越しください。
※京都国立博物館では混雑が予想されるため、入館時にお待ちいただく可能性があります。

京都国立博物館
「京へのいざない」展覧会チラシ

4月から新しい美術財団となりました

石川県七尾美術館は、本市名誉市民であった池田文夫氏のご遺族からの美術品の寄贈を契機に、多くの市民の皆様の熱い思いを受け、平成７年４月に能登地域の人々の芸術文化活動の拠点となるような美術館を目指して開館しました。

財団法人七尾美術館は、この七尾美術館を管理し、優れた芸術文化に触れる機会の提供と振興発展に寄与するために設立されています。

その後、平成15年に地方自治法の一部改正により、公の施設の管理運営を営利企業も含めその他の団体に代行させることができる指定管理者制度が導入されることとなりましたが、元々美術館の管理運営と芸術文化活動の振興発展に寄与することを目的に設立され、多くの実績のある当財団法人七尾美術館が、改めて指定を受けることとなりました。

一方、平成17年の七尾市行財政改革プランを受け、七尾美術館と能登島ガラス美術館では、財団法人合併推進委員会を組織し、両美術財団の統合を検討してきました。

しかし、その翌年、公益法人制度改革により、平成25年11月30日までに新制度法人へ移行しなければならないことが法制化され、両美術館は合併の協議を行いつつも、まずは移行認定の手続きを行い、24年４月から各々公益財団法人へ移行しました。

このような紆余曲折はありましたが、本年４月１日から七尾美術館と能登島ガラス美術館を管理運営する新しい公益財団法人七尾美術財団が誕生しました。

新財団は、これまで２つの財団が培ってきた実績を活かした展覧会などの開催やＰＲ、職員の資質向上などに一体となって取組み、観覧者数の増加や芸術文化の情報発信を進め、地域の活性化につなげて行きたいと考えておりますので、皆様の一層のご理解、ご支援をお願い致します。

これからの展覧会予定

平成26年11月7日（金）～ 12月14日（日）会期中無休

◆第1・2・3展示室 「2014 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

イタリアの古都ボローニャで毎年開催される、絵本原画コンクールの入選作品を紹介します。世界中から応募があり、今年は23カ国75作家が選ばれました。５枚１組で構成されるイラストはバラエティ豊かで個性に溢れています。特別展示は２人の日本人作家です。昨年「ボローニャＳＭ出版賞」を受賞した刀根里衣はイタリアの出版社から絵本作家としてデビューし、現在もミラノを拠点に制作しています。これまでに出版された絵本から、７タイトル36点の原画を紹介します。そして、2001年にボローニャ展に初入選し、国内外で多くの絵本を出版している三浦太郎は、今年、ボローニャ市立現代美術館で、絵本『ワークマン　ステンシル』出版記念展が開催されました。その関連大型作品も紹介します。絵本コーナーでは、ボローニャ・ラガッツィ賞受賞絵本など国内外の絵本も多数展示します。印刷された絵本からは感じることのできない原画の魅力をお楽しみください。

『世界よ、こんにちは！』
カタリーナ・ヴァルクス（オランダ）

平成26年12月19日（金）～平成27年2月15日（日）

◆第1展示室 「われら、能登ブランド絵師～近世に活躍したゆかりの画家～」

「近世に活躍した能登ゆかりの画家」の知名度№１は、やはり長谷川等伯でしょう。
しかし能登では、等伯の他にも数多くのゆかりの画家たちが活躍しています。本展では彼らにスポットをあて、所蔵品（等伯を含む）を中心に様々な作品を紹介予定です。

◆第2展示室 「うつしとられた風景～作家の心をつかんだ眺め～」

誰しも自分だけの「お気に入りの風景」をお持ちのことと思います。それは遠い異郷の地であることもあれば、身近な何気ない風景ということもあるでしょう。本展では所蔵品より、作家たちの心を捉え、作品として描かれた様々な風景を紹介します。

「蘭図」　山崎雲山　輪島市蔵

プレミアム・パスポート
割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

飛行機……羽田空港から能登空港まで約１時間、能登空港から「のと里山海道」（能越自動車道）利用約45分
車……「のと里山海道」徳田大津J.C.T.又は「能越自動車道」七尾城山I.C.より約15分
タクシー…JR七尾駅から約５分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バスまりん号
…JR七尾駅前「ミナ．クル」ビル裏バス停から等伯ルート（西回り）「七尾美術館前」下車
ななおコミュニティバスぐるっと7
…JR七尾駅５番乗り場から西コース「小丸山台１丁目」下車

無線でネット FREE SPOT ブロードバンド・オアシス
エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fi スポットサービスの「FREESPOT」をご利用頂けます。

◎次号・第79号（秋号）は10月１日発行予定です。

◆7月～9月カレンダー◆ ※■は休館日
◆開館時間◆ 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

2014 7 JULY

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8 AUGUST

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9 SEPTEMBER

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

〒926-0855　石川県七尾市小丸山台一丁目１番地
TEL(0767)53-1500 ／ FAX(0767)53-6262
http://nanao-art-museum.jp